

## 総合政策課長の仕事宣言！ 進行管理表

総合政策課長 鹿毛 晃之

①重点施策項目名	公共施設マネジメントを行います
②目標値	市庁舎整備基本計画策定進捗率 平成29年度当初 0%⇒平成29年度末 100%
③今年度の取組方針	平成29年1月に策定した「鳥栖市庁舎整備の基本的考え方」に基づき、新庁舎建設の場所、配置、構造、事業手法や庁舎に取り入れる機能等について、市民、有識者による検討委員会を組織し、検討委員会の意見等を踏まえた市庁舎整備基本計画の策定を目指します。
④上半期の取組内容	市民、各種団体の代表者等8名で組織する「市庁舎整備基本計画策定委員会」を立ち上げ、6月（第1回）、8月（第2回）に委員会を開催しました。 委員会では、現状と課題を整理し、市民アンケートの実施及びその結果を踏まえた建設候補地等の検討を行いました。 また、庁内検討部会による先進事例調査等を行うことで、求められる庁舎機能の検討など今後必要な設計業務等を踏まえた準備作業も合わせて進めています。
⑤下半期の取組内容	市庁舎整備基本計画策定委員会を10月（第3回）、11月（第4回）、12月（第5回）に開催し、同委員会の意見等を踏まえ市で基本計画素案を策定しました。市内全地区及び市役所で市民説明会を10回開催。団体との意見交換、パブリック・コメントなど、市民への情報提供、意見募集を経て、平成30年2月（第6回）の策定委員会でパブリック・コメントに対する意見対応を協議し、最終的に市で基本計画を策定しました。
⑥数値目標の結果	当初予定通り、基本計画策定業務を終えました。
⑦成果と課題（次年度に向けて）	今回の基本計画策定では、基本的な考え方・進め方について整理し、具体的な部分まで踏み込めていない部分もあるため、今後の基本・実施設計において、今回明らかとなった課題や具体的な取組方策の検討に繋がります。

## ◇所管部長の指示

## 上半期

・年内の基本計画素案策定に向け取組むとともに、具体的な事案も同時並行して整理していくこと。

## 下半期

・基本計画の策定時に判明した課題・問題点を基本設計及び施設運営に生かせるよう整理すること。

## 総合政策課長の仕事宣言！ 進行管理表

総合政策課長 鹿毛 晃之

①重点施策項目名	地域特性を活かした魅力ある拠点の形成を図ります
②目標値	新鳥栖駅利用者数／日 平成29年度当初（推計）3,262人⇒平成29年度末3,602人
③今年度の取組方針	九州国際重粒子線がん治療センターを誘致した地元自治体の役割として、事業推進、資金収集活動、PR活動を積極的に行っていきます。
④上半期の取組内容	事業推進については、会議等への出席を通して、それぞれ関係団体の情報共有等を図りました。 資金収集活動については、機会を捉えて市長によるトップセールスを行いました。 PR活動については、「まつり鳥栖」パレード隊に参加し、施設及び治療方法等についてPRを行いました。
⑤下半期の取組内容	事業推進については、定期的な会議に出席し、それぞれの団体の情報共有を図りました。 関東の企業2社を訪問する、市長のトップセールスを行いました。
⑥数値目標の結果	新鳥栖駅利用者数／日 平成27年度 2,955人／日 ⇒ 平成28年度 3,018人／日
⑦成果と課題（次年度に向けて）	今後も、機会を捉えて市長によるトップセールスを行うなど、九州国際重粒子線がん治療センターを誘致した地元自治体の役割として、事業推進、資金収集活動、PR活動を積極的に行っていきます。

## ◇所管部長の指示

## 上半期

- ・今後も、佐賀国際重粒子線がん治療財団との連携を図り、事業推進等を図ること。

## 下半期

- ・佐賀国際重粒子線がん治療財団との情報共有を図りながら連携を図り、事業推進等を図ること。

## 総合政策課長の仕事宣言！ 進行管理表

総合政策課長 鹿毛 晃之

①重点施策項目名	地域間交流・広域連携の取組を進めます
②目標値	広域連携事業数 平成29年度当初10事業⇒平成29年度末11事業
③今年度の取組方針	筑後川流域クロスロード協議会、グランドクロス広域連携協議会を中心として現在実施している事業の確実な実施と住民サービスの向上につながるような新たな事業の検討を行います。
④上半期の取組内容	筑後川流域クロスロード協議会は、7月28日に本市で総会を開催しました。総会において、地域ビジョンに基づき域内の交流・活性化につながる具体的取組の検証および事業推進を確認しました。本市が担当する文化イベント情報発信事業について、8月25日にグループ会議を開催し、ロゴの決定、フェイスブックによる情報発信のためのガイドラインの検討を行いました。今後は、整備でき次第運用を開始することとしています。 グランドクロス広域連携協議会は、7月7日の幹事会において、部会の取り組みの推進を確認するとともに、今後、一部部会の在り方の検討を行うこととしました。
⑤下半期の取組内容	筑後川流域クロスロード協議会では、地域ビジョンに基づく取組（鳥栖市担当：SNSを活用した文化イベント事業発信）のガイドライン整理の他、H31年度以降の新たなビジョンの検討をはじめました。 グランドクロス広域連携協議会では、検討項目となっていた新たな部会編成についての協議（シティブロモーション、オープンデータ）を行いました。
⑥数値目標の結果	今年度は、婚活バスツアーの開催を見送ったことから10事業となりました。
⑦成果と課題（次年度に向けて）	取組の見直し、新たな部会編成などを当面の課題としており、構成市町と連携して効果的な取組を推進していきます。

## ◇所管部長の指示

## 上半期

・今後も、筑後川流域クロスロード協議会及びグランドクロス広域連携協議会との連携を推進すること。

## 下半期

・首長の交代があった構成団体もあることから、筑後川流域クロスロード協議会及びグランドクロス広域連携協議会との情報交換をこれまで以上に図り、連携を推進すること。

## 総合政策課長の仕事宣言！ 進行管理表

総合政策課長 鹿毛 晃之

①重点施策項目名	土地利用構想を策定します
②目標値	土地利用構想策定進捗率 平成29年度当初0%⇒平成29年度末100%
③今年度の取組方針	新たな雇用創出のための企業誘致の推進や移住・定住者の増加につながる住宅政策を進める新たな拠点形成のための土地利用構想を策定します。
④上半期の取組内容	関連事業である都市計画マスタープラン策定業務（まちづくり推進課）、将来道路網検討業務（建設課）、県担当課との連携を図りながら、現況調査並びに需要調査等の策定作業を進めています。 また、国道（佐賀国道事務所）及び県道（道路課、都市整備課）、コンサルを交えた会議を5月と9月に開催し、道路網検討作業に必要な土地利用構想策定に伴う交通量推計等についての協議を行いました。
⑤下半期の取組内容	関係課との協議を踏まえ、土地利用構想策定に必要な調査業務について、コンサルタントの支援を受けながら業務を進めました。
⑥数値目標の結果	構想策定に必要な調査業務は終え、調査結果を踏まえた構想策定に取り組んでいます。
⑦成果と課題（次年度に向けて）	調査結果を踏まえた、構想を早期に策定し、総合計画土地利用計画及び都市計画マスタープラン策定業務への反映に繋がります。

## ◇所管部長の指示

上半期

- ・構想策定作業のスピードを速め、公表できる内容の素案作成を急ぐこと。

下半期

- ・早期の構想策定に努めること。